

創立30周年に寄せて

山梨ことぶき勸学院 学院長 守屋 守

山梨ことぶき勸学院は、高齢化社会や生涯学習のニーズに対応するため、昭和62年に全国に先駆け開校し、平成28年度をもって30年の節目を迎えます。この間、幾多の変遷・発展を遂げ、7886名の卒業生を輩出しました。

この記念すべき年を迎えることができましたのは、勸学院生の学習意識の高さと、県民の皆様方の御理解、御協力のたまものと感謝申し上げます。

勸学院を巣立った方、そして、現在在籍されている方につきましては、豊富な経験と知識を生かし、地域における文化活動やボランティア活動などを通じて地域福祉や生涯学習の推進に貢献しておられます。今後とも勸学院生の皆様方には、縁や絆を大切に「地域づくり」に積極的に貢献されることを期待申し上げます。

山梨ことぶき勸学院沿革

- 昭和58年 「高齢化社会モデルをつくる懇話会」を設置
- 昭和60年 3月 「山梨県高齢化社会モデル」で高齢化大学の設置を策定
- 昭和61年 6月 山梨県高齢者大学構想検討委員会発足
- 昭和61年10月 山梨県高齢者大学構想検討委員会より報告書提出
- 昭和62年 4月 山梨ことぶき勸学院開校 第1期生入学(8学園 峡中・北巨摩・南巨摩・東山梨・東八代・西八代・南都留・北都留)
- 昭和63年 4月 峡中学園を甲府・中巨摩学園に分け9学園とする。
- 平成元年 4月 山梨ことぶき勸学院大学院開校 第1期生入学
- 平成8年10月 創立10周年記念式典
- 平成9年 4月 山梨ことぶき勸学院大学院 都留学園開校
- 平成12年 4月 大学院事務局を中央高校より現地(甲府市東光寺)に移転
- 平成18年11月 創立20周年記念式典
- 平成20年 4月 大学院都留学園1コース2校(大月・吉田)制に移行
- 平成24年 4月 大学院の募集停止、勸学院は9学園から6教室とする。
- 平成25年 3月 大学院閉校式
- 平成25年 4月 (公財)やまなし文化学習協会へ業務委託
- 平成28年10月 創立30周年記念式典

入学生数・卒業生数及びその累計

勸学院

年度	入学生数	卒業生数	卒業生計	年度	入学生数	卒業生数	卒業生計
昭和62年度	386			平成14年	332	303	4,401
昭和63年度	439	329	329	平成15年	298	290	4,691
平成元年	373	353	682	平成16年	339	271	4,962
平成2年	410	299	981	平成17年	354	304	5,266
平成3年	351	327	1,308	平成18年	338	321	5,587
平成4年	337	275	1,583	平成19年	328	307	5,894
平成5年	344	261	1,844	平成20年	321	298	6,192
平成6年	340	277	2,121	平成21年	308	283	6,475
平成7年	351	290	2,411	平成22年	316	274	6,749
平成8年	348	305	2,716	平成23年	309	282	7,031
平成9年	329	312	3,028	平成24年	289	275	7,306
平成10年	312	280	3,308	平成25年	187	234	7,540
平成11年	293	269	3,577	平成26年	198	165	7,705
平成12年	327	249	3,826	平成27年	217	181	7,886
平成13年	337	272	4,098	平成28年	178		
				合計	9,589	7,886	7,886

大学院

年度	入学生数	卒業生数	卒業生計	年度	入学生数	卒業生数	卒業生計
平成元年	192			平成13年	231	177	2,125
平成2年	207	179	179	平成14年	261	208	2,333
平成3年	205	170	349	平成15年	248	225	2,558
平成4年	252	187	536	平成16年	238	206	2,764
平成5年	183	212	748	平成17年	243	193	2,957
平成6年	162	164	912	平成18年	189	218	3,175
平成7年	165	143	1,055	平成19年	176	159	3,334
平成8年	181	154	1,209	平成20年	220	156	3,490
平成9年	213	159	1,368	平成21年	185	190	3,680
平成10年	248	203	1,571	平成22年	159	176	3,856
平成11年	196	210	1,781	平成23年	198	147	4,003
平成12年	203	167	1,948	平成24年		179	4,182
				合計	4,755	4,182	4,182

山梨ことぶき勸学院 創立30周年

三十年の歩み



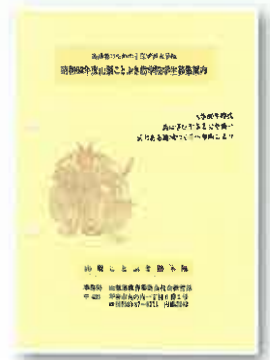
山梨ことぶき勸学院 学院歌

作詞 黒川隆英
作曲 塩島麻美

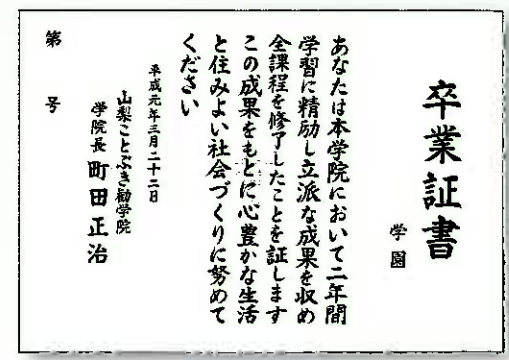
一 霊峰富士を 仰ぎ見て
生きるよろこび 求めあう
人生いくとせや 山や河
なじみの仲間 手をとりて
新たな出会い 幸あらん
ああ ことぶき勸学院

二 甲斐の歴史を ひもといて
心を開き むつみあう
朝な夕なに 書広げ
えにしにの糸に 結ばれて
幸や求め 生きぬかん
ああ ことぶき勸学院

三 時の流れに 目をひらき
この世の絆 強めあう
学ぶ喜び わからぬ
友と人生 かたらいて
永遠の幸や かみしめん
ああ ことぶき勸学院



第一期生募集要項



第一期生卒業証書

■表紙写真 甲府教室1年 阿部七郎

今回の記念リーフレット作製にあたり
原稿や写真などをお取り寄せくださった皆様に
心よりお礼申し上げます。

発行 平成28年10月20日 山梨県教育庁社会教育課
山梨ことぶき勸学院

■甲府拠点 甲府市東光寺二丁目25-1
■都留拠点 都留市田原三丁目3-3 南都留合同庁舎

勸学院 30年の歴史



勸学院で学んで

「水墨画と私…新たな自分との出逢い…」 中村 土光(光信)

近所の先輩に誘われて入学した勸学院で素晴らしい仲間や水墨画と出逢ったことが、その後の私の人生を劇的に変えました。筆の持ち方、線の描き方から教わり、やがて念願のル・サロンに入選・入賞した時には天にも昇る気持ちでした。以来タイ王室に招かれたり雪舟美術協会審査員や地域的水墨画講師を務めたりと多忙な日々を送り、「好きなことを思い切りやってね」との妻の励ましを力に今は画集を編むべく作品整理を行っております。「仲間」と「水墨画」と「新たな自分」に出会わせてくれた勸学院には心から感謝しています。

- アンバサドアンテルナショナルデザール永久会員 ■雪舟国際美術協会会員(審査員) ■AMSC永久無鑑査公式認定作家・芸術会員
- タイ国立シラパコーン大学芸術センター主任客員教授



中村氏作品



30周年を迎えて

「地域のリーダーとして『新たな縁・絆の構築』の実現」

在校生代表 若狭 政雄

創設30周年を迎えるにあたりこれまでご支援をいただいた県知事はじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。顧みれば、この30年、創設期には生徒募集は受付早々定員に達し、中期には県下9教室で活発な活動が行われ、後期に入ると定員割れなど閉校の危機に立たされこともあり、時代の流れと共に勸学院が置かれた状況は刻々変化して来ましたが、勸学院に集う私たちは、充実した生きがい求めて活発に学び、積み重ねた経験と知識をもって地域への貢献に励んできました。この機に改めて勸学院に学ぶ意義を仲間と再確認し、さらなる歩みを進めて行きたいと思っております。



現在の勸学院

「甲府教室での学び」

甲府教室 白岩 洋子

煌々と冴える月。行ってみたいと願い行ってしまったアポロ。兎はいなかった。

勸学院講師陣の講義は行ってしまった結果の内容なればこそ、その奥深さがある。また、多様な経験を積んだ学友達との交わりからも刺激を与えられ、今も昔も学ぶ楽しさは変わらないと受け止めている。まだまだ、自己満足の段階。勸学院を通じた社会貢献が次の課題であろう。

「晩学を楽しむ」

中北教室 依田 英樹

私にとって勸学院は多種の講座を通して幅広い分野の知識を学ぶ機会が提供されており、専門的知識に偏りがちな自分にとって大変役立っています。また、学ぶことにより新たな発見をする喜び、共に学ぶ仲間との交流の楽しみを実感できる場となっており、多くの講師の先生方との出会いや学ぶ過程に大きな意義を感じつつ勸学院生活を楽しんでいます。

「今の勸学院の学び」

峡東教室 桐原 昭雄

峡東教室は東山梨合同庁舎で60名が学んでいます。日常生活を離れて山梨の歴史・文化に触れ、郷土の先人達の偉業に思いを馳せるのは贅沢で楽しい時間です。

また、学生の自主計画による現地研修や勸学院祭での発表を通して培われる学生相互の友情の輪は、今後の貴重な財産となります。できることなら、大学院の復活をお願いしたいと思います。

「今、勸学院での学び」

峡南教室 北村 正仁

仕事をリタイアして、さて「毎日が日曜日」となったとき、人生80年の終焉を迎えるまで少しでも世の中の役に立ちたい、日々の目的を持ちたいとの思いで「ことぶき勸学院」に入学し、利害関係のない友達と「学び・遊び・喜び」の充実した老後を送っています。少子高齢社会の中、高齢者がここで学んだ知識と今まで積み重ねた経験を、地域社会に還元するチャンスにいただきました。年々増加する高齢者がこの勸学院に集い、さらなる仲間の輪を広げていってほしいと思っています。

「勸学院で習得したこと」

南都留教室 廣瀬 英雄

ことぶき勸学院第29期生としての1年半が過ぎました。勸学院の現代の理念に沿ったカリキュラムにより専門講師による講義、また地域貢献事業と充実した勸学院生活を送っています。そして何よりも大きな成果は学ぶ気概を甦らせてくれたこと、学院生相互との繋がりが作れたこと、さらには、地域の行事等に積極的参加の気持が持てたことです。

「人間学履修中です。」

北都留教室 能本 保規

何気なく見た勸学院案内チラシがそれ以降の日常を変えました。人生経験豊かな方たちと共に、深掘したカリキュラムを享受できる有り難さ、面白さ。記憶から遠ざかっていた教室の雰囲気。それに対して各々異なる反応、対応、態度。本当に人って幾つになってもそんなに余り変わらないものですね。まさに今、人間学を再度学んでいます。

創立から(創立の理念に向けて)

「学ぶ喜び」

石水 勤吾

昭和62(1987)年に山梨ことぶき勸学院は全国に先駆けて発足した。高齢者の学びの場であった。その果たした役割は大きい。私は10年間にわたってここで学び、得難い経験を積んだ。未知の世界を知った。学ぶ喜びを知り、いろいろな友を得て、苦を語り、共に力強く生きることを誓った。いかに世のため人のために生きるかを学んだ。ここで学べたからこそ今があると感謝している。



新たな勸学院のスタート

「勸学院の転機に遭遇して」

峡南教室 丹沢 勝

平成23年9月、勸学院が嵐に見舞われました。事業仕分けにおいて、県の行政評価アドバイザーから廃止を含めた評価を受けました。私達は何回も会議を開き、在校生、卒業生の気持ちを県に伝えました。県の様々な見直しの中、新制度の下、新たなスタートが切られる事になりました。2年間の学園生活で育まれる固い絆、地域のリーダー意識の育成という、他の学習の場とは異なる勸学院の伝統を受け継ぐことができ本当に良かったと思えました。



「改革を乗り越えて」

元峡南教室担当 佐野 隆

平成25年、新制度のもとで勸学院がスタートしました。講座改訂のほか基本学習費の値上げや遠方での学習もあって、生徒の負担が多く運営が心配されました。しかし、それは杞憂でした。生徒は常に真摯に学び、仲間との絆を深め、勸学院生である喜びを体一杯に表していました。まさに「学びの火は消さない」「勸学院の素晴らしさを伝えよう」そんな気概に満ちていました。